



利益を上げられる従業員のみが 経営者が求める理想の人材の条件となる！！

経営の面でいつも重要な問題になっていることは、優秀な人材を集め、採用していくことである。

しかしながら、特に中小企業の場合ではオーナー経営者が先頭に立って優秀な人材を集める努力をしているところは非常に少ない。

受注量が急に増えたり、従業員が退職したりして人手が足りなくなったらハローワークや人材派遣会社からとりあえずの人材を採用する。

果たしてそんなことで優秀な人材を採用していくことは出来るのであろうか？
否、不可能である！！

それは絶対に無理なことである！！

あるクライアント企業の社長と話をしていた時にその社長に聞いたことがある。
「社長のところはどんな従業員が欲しいか？」と。

その社長曰く、

- ①仕事ができる従業員が欲しい
- ②心配りができる従業員が欲しい
- ③誠実な人間が欲しい
- ④明るくて、覇気のある前向きな人間が欲しい
- ⑤頭の良い聡明な人間が欲しい
- ⑥コミュニケーション・スキルの高い人間が欲しい
- ⑦礼儀正しい人間が欲しい



等々の返事が返ってきたのだが、果たしてこれは正しいことであろうか？

多くの経営者は大体そんなところで「人材」というものを考えているが、私は基本的にそれは間違っていると思っている！！

理想の従業員とは「利益を上げられる」従業員である。

従業員を雇う唯一の理由は、その人を雇うことで、雇うことにより発生するコストの何倍かの利益を上げることができるということである。

それ以外に何一つ理由は無い！！

しかしながら、どんな会社に行っても利益を上げている従業員は、ほんの一握りである。
コストだけを発生させている人間が如何に多いことか・・・。経営者はそこにメスを入れていく必要がある！！